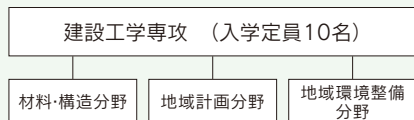


大学院生の声

大学院 博士前期課程

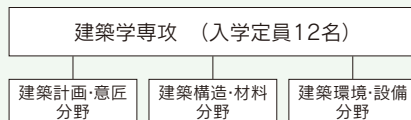
建設工学専攻

Civil Engineering



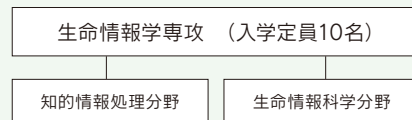
建築学専攻

Architecture



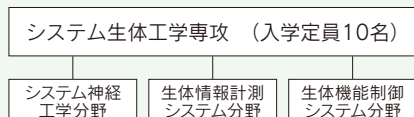
生命情報学専攻

Life Science and Informatics



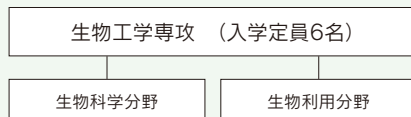
システム生体工学専攻

Systems Life Engineering



生物工学専攻

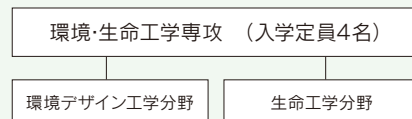
Biotechnology



大学院 博士後期課程

環境・生命工学専攻

Environment and Life Engineering



建設工学専攻

地域計画研究室
町野 香歩 さん

地域活性化の一助になる研究を目指しています

前橋工科大学には建築を学びたいと思い入学しました。入学してから旅行に行った先で街並みなどを見て、都市開発やまちづくりに興味を持つようになり、土木分野、都市計画などの研究へと変わりました。都市計画では道路整備なども必要ですが、その土地に対する愛着や人と人とのつながりが重要と知り、今は人口流出を防ぐことができる、「地域力」を高める研究をしています。

地域への愛着について考えるきっかけになったのは、前橋工科大学は県外出身者が多く、それぞれ自分の出身地に愛着を持って地元に貢献することを考えているのが分かったからです。学部生時代に現在所属している研究室の先生の授業で、事例や写真などで分かりやすく教えていただいたことも今の自分の研究に結びついていると思います。

高校生の頃漠然と想い描いていた憧れが、大学院で研究できたことで具体的に考えられるようになりました。建設コンサルタントに就職予定ですが、駅前開発や河畔整備などに携われるようにしたいと考えています。



建築学専攻

建築意匠・建築設計研究室
家村 しずか さん

自己探求ができる環境が整っています

学問としての建築をもっときちんと理解するために、今の環境が自分を応援してくれると感じられたことが大学院への進学を決めた一番の理由です。大学院では「受け身」から「自分で考えて発信する」学びに変わりました。そのことで、興味がある人はより楽しく学びに集中できる、「前のめり」になれる環境が前橋工科大学の大学院にはあると思います。

さらに、自主的に自身の活動につながる場所にアンテナを広げて足を運び、経験できるようになり、研究にかける時間が増えたことで自身の成長につながっていると実感しています。前橋工科大学の先生はご自身で事務所などを構えて実務をされている方も多く、その方に教えていただくことで、より実務に即した勉強ができ、将来的にとてもありがたいと思います。

将来は建築設計者として、規模を問わず仕事に向き合い、自身の考える設計に対する思いがリンクした設計ができるようになりたいと考えています。





生命情報学専攻

バイオインフォマティクス研究室
木村 将成 さん

1つの学科で複数の分野を学ぶからこそ 広い視野で物事を考えられます

学部生時代の研究で思うような結果を見だしきれず、大学院への進学を決めました。現在は、タンパク質の配列を生物種ごとに比較し、系統樹や生物ごとの差異を通して特徴を見つけるという研究を行っています。大学院に進んだことで学部生時代よりも研究に費やせる時間が増え、自分で研究を進められるようになったことが、一つ大きな収穫です。生命情報学科は、1つの学科で情報学と生物学の2つの分野について学ぶため、本来見えない接点に気づき、広い視野で物事を考えることができます。また、大学院に進み、自分で考え研究を進める機会が増えたため、進捗や予定を共有するミーティングを通して端的にわかりやすく説明する力が付いたと思います。それは、就職活動時にも役立ち、研究面だけでなく社会に出てから役立つ能力も身に付いたと実感しています。大学院での2年間で身に付いたことを活かし、これからも広い視野で物事を考えることを大切にしていきたいです。



システム生体工学専攻

生体情報計測システム分野
原田 愛未 さん

研究に没頭できる環境で メリハリを持って物事に取り組みます

高校の時に、しっかりと知識を体系的に習得してから就職した方が、学んだ分野をより仕事に活かせるというアドバイスをいただいていたので、大学入学時には院に進むつもりでした。前橋工科大学の大学院はハードやソフト、身体内部といった幅広い観点から医療・福祉工学について学べる数少ない大学院だと思います。医療系の業界を目指していた自分にとって、一対一で患者さんを救う医療従事者よりもたくさんの人を救う可能性がある医工学を、生理学や情報、電気電子などの分野を横断して均等に学べる最適な環境でした。現在は認知症など脳機能の低下を抑えることにつながるよう、見えない光を用いて数を扱う課題中の脳血流について研究しています。大学院は、きちんと自分と向き合って考え、研究する時間が取れることが最大のメリットです。高校生の皆さんには、視野も広がる大学院までを見据えて頑張ってください。



生物工学専攻

微生物工学的研究室
力石 佑紀 さん

限られた時間の中で効率よく研究に取り組め 日々満足しています

小さいころから研究者になりたいという夢があり、大学入学当初から大学院に進みたいという思いがありました。高校2年生の時に、生物の面白さに気づいたことがきっかけで、生物工学という分野に興味を持ちました。現在は、学部生時代に学んだ微生物の知識を活かして、私たちの体内や日々の環境の中で、微生物がどのような作用を及ぼしているのかという研究を行っています。研究の中で悩みがあれば教授に相談し、それを研究に活かしてデータを出しています。思うような結果が出ないこともありますが、限られた時間の中で要領よく動くことが身に付き、自分の納得のいく研究ができていますので満足しています。悩みを直接教授に相談できるという点は、少人数の大学の良さだと思っています。卒業後も、研究で得た生物の知識をもとに、SDGsを考慮した化学製品の開発に携わりたいと考えています。

